

混合交通を観察する
DOCUMENT EYE

134

子どもを乗せている自転車の乗り方を観察する
**子どもを乗せ交差点で左右確認した
自転車30台中11台**

WHY

子どもを乗せた
自転車の乗り方は?

自転車は通勤や通学、移動や買い物のほか子どもの送り迎え等にとっても便利な



観察地点 / 東京都杉並区清水2丁目
観察日 / 3月13日(火曜日)
天候 / 晴れ
観察時間 / 8:40 ~ 10:10
観察者 / 4名

朝の通園時間帯、子どもを乗せた自転車が目立つ



歩道で自転車を押して歩く女性

子どもを乗せた自転車の交差点の渡り方(30台中)

	左右確認		計
	あり	なし	
押して歩く	2	0	2
乗って走行	9	19	28
計	11	19	30

30台中15台が子ども2人を乗せて走行、子どもを前に抱えて走る女性も

WATCHING

観察を行なったのは東京・杉並区の環状八号線にある「清水二丁目」交差点。交通量は多く、付近には幼稚園がある。観察時間帯が幼稚園児の通園時間だったため、子どもを乗せて自転車を走らせる母親らしき女性の姿が目立った。1時間半ほど観察した結果、この交差点を通過した子どもを乗せた自転車は合計30台だった。30台中29台には、ハンド

ル部もしくは後部の荷台に子ども用の乗車装置(補助椅子)を備えていた。このうち交差点内を走りながら渡ったのは28台。母親が自転車から降りて押して渡ったのが2台だった。子どもを乗せる位置だが、子ども1人を乗せていた15台は前が7台で後ろが8台だった。2人を前後に乗せていたのは15台、うち1台は子ども1人を抱っこしながら走っていた。

運転者の服装は、スカート着用が4台、パンツ着用が26台で、強風で寒かったせいもあるが総じて行動的で動きやすい服装だった。子どもの多くは通園時間のため制服を着用し、帽子をかぶっていたが、頭部をしっかり保護するようなヘルメットをかぶっていたのは1人もいなかった。横断時の左右確認については、押して渡った2台はどちらも左右確認を行なっていた。一方、走りながら横断した自転車(28台)の左右確認は9台だけだった。強風のためかつつむき加減の人が多かったほか、知人と話しながら渡っていた例も見られた。また、観察地点の横断歩道には自転車通行帯が設けられていたが、ここを渡った自転車は皆無で、幼稚園方向に向かって斜め横断した自転車が多かった。横断時に信号を無視した例は1台見かけた。こうしたマナー違反は見られたものの、走行中ふらついたり、周囲の歩行者にぶつかるようなケースは見られなかった。

PROPOSE

両足でしっかり停止、歩行者の多いところは自転車を押して歩こう

今回観察した結果、冒頭に述べたような転倒やぶらつきなどの危険な状況は見られなかった。子どもを乗せる補助椅子



子ども2人を乗せ、横断歩道を渡る。後ろの子どもの手に荷物

もほとんどの自転車が装着されていた。今後は、子どもにはヘルメットをかぶせて頭部を保護するなど、万一のための備えをして子どもの安全にさらに留意してほしい。また、子どもの足が車輪に巻き込まれないよう、足は必ず補助椅子の足にせに乗せるよう呼びかけてほしい。運転者は、スカートやヒールの細い靴、ひも靴を避け、動きやすい格好を徹底することが望まれる。

観察した30台中15台は自転車の前と後ろに2人子どもを乗せていた。とくに前に子どもを乗せた場合、ハンドルが重くなりバランスがとりにくくなる。そのため、横断歩道や交差点ではぶらつかないようしっかりと両足をついて止まってから、左右確認をすることを勧めたい。またこのような場所では周りの歩行者にぶつからないよう、自転車を押して歩くことを心がけてほしい。

**「お知らせ」
ホンダ安全運転普及本部
新事務局長に木村正夫が就任**

ホンダ安全運転普及本部の事務局長に4月1日をもって、木村正夫が就任いたしました。安全で快適な交通社会づくりに向けて、なお一層、邁進する所存であります。前任者同様、今後ともよろしくお願い申し上げます。